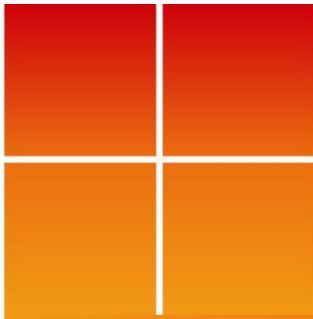




奥の細道むすびの地周辺整備 基本計画

行春や鳥啼魚の目ハ泪

…………… 蛤のふたみに別行秋そ

平成22年8月

大垣市



目 次

第1章 背景	1
第2章 対象区域	2
第3章 基本的な考え方	3
第4章 整備コンセプト	4
4-1 コンセプト	4
4-2 役割・機能	5
第5章 整備事業	7
5-1 事業内容	7
5-2 構成事業	9
5-3 主要施設	11
第6章 イメージパース	15
第7章 整備費用	19
第8章 集客見込み及び経済効果	20

第1章 背景

元禄2年（1689年）の秋、俳諧の大成者である松尾芭蕉は、約5か月の漂泊の旅である「奥の細道」の紀行を大垣で終えた。当時の大垣の俳諧は、大垣藩主・戸田公の文教奨励もあって、同門で旧友の谷木因や大垣藩士を中心に盛んであったが、芭蕉の4回にわたる大垣への訪れは、大垣の俳諧に新風を吹き込んだ。

一方、大垣市は、良質で豊富な地下水に恵まれ、古くから「水の都」と呼ばれている。奥の細道むすびの地周辺には、大垣城の外堀であった水門川が流れるとともに、かつて桑名までの重要な水運の拠点として隆盛を誇った船町湊跡があるなど、水からの恩恵による「水の文化」が育まれてきた。

こうした中、奥の細道むすびの地をはじめとする大垣市の中心市街地は、長い歴史の中で文化や伝統を育んできた「まちの顔」であったが、近年のモータリゼーションの進展、郊外型大規模小売店舗の立地などにより、その拠点性が低下している。

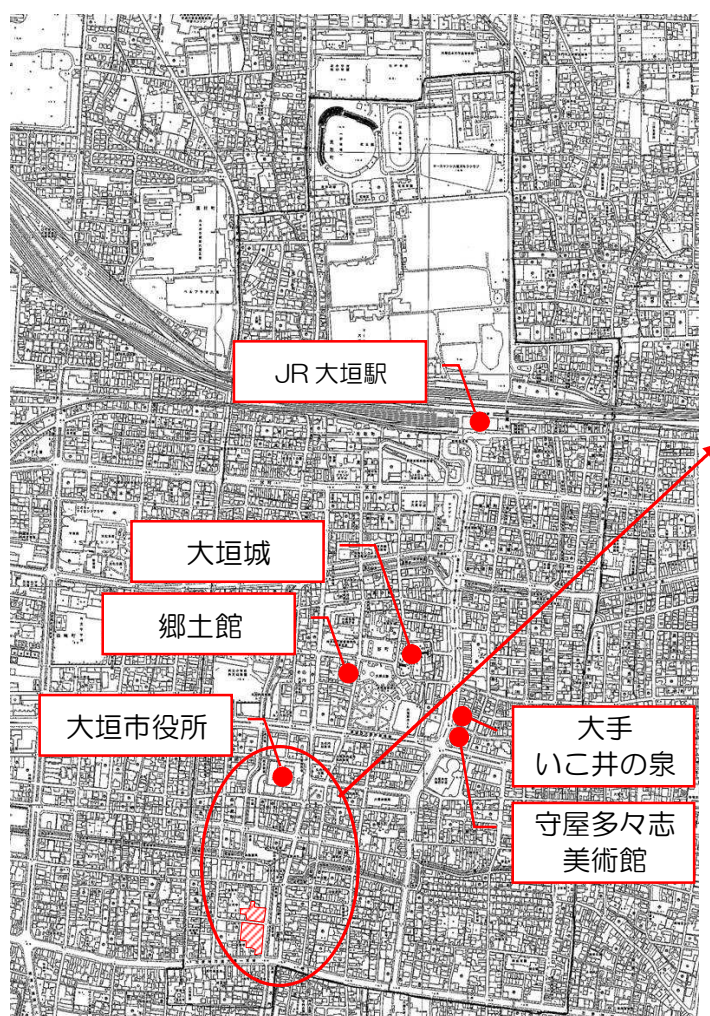
中心市街地の活性化と回遊性を高めるため、これまで育んできた文化の薫り高い大垣の個性を生かし、大垣市の歴史と文化が息づく船町・美濃路界隈であり、俳聖・松尾芭蕉が「奥の細道」の紀行を終えた「むすびの地」周辺に、憩いと賑わいの空間を整備する必要がある。



第2章 対象区域

対象区域は、大垣市の歴史と文化が息づく船町・美濃路界隈で、俳聖・松尾芭蕉が「奥の細道」の紀行を終えたむすびの地である水門川沿いの土地及びその周辺地域とする。

なお、中・長期的には、大垣市総合福祉会館までを整備区域とし、さらなる整備推進を検討する。



(参考)

区分	面積
A	3,894.31 m ² (実測 3,905.71 m ²)
B	1,718.47 m ² (実測 1,738.75 m ²)
合計	5,612.78 m ² (実測 5,644.46 m ²)

第3章 基本的な考え方

（１）中心市街地の活性化

近年のモータリゼーションの進展、郊外型大規模小売店舗の立地などにより、大垣市の文化や伝統を育んできた「まちの顔」である中心市街地の拠点性が低下している。

シンボリックな拠点の一つとして整備を進め、回遊性のある新たな賑わいを創出し、中心市街地の活性化を図る。

（２）ふるさと・大垣への誇りと愛着の醸成

大垣市では、これまで歴史・文化の保存・顕彰に取り組んできたが、数多く存在する歴史的・文化的資源の価値が市民に十分に理解されていない。

大垣市の歴史・文化や先賢を顕彰することで、ふるさと・大垣への誇りと愛着を醸成する。

（３）観光・交流産業の促進

大垣市では、これまで奥の細道むすびの地や大垣城を中心として観光・交流産業の促進に取り組んできたが、観光・交流資源が点在しているため、集客力を弱めている。

西美濃地域をはじめとする広域的視点に立って、中核的拠点を整備し、観光・交流を促進する。

第4章 整備コンセプト

4-1 コンセプト

大垣の歴史と文化が息づく憩いと賑わいの空間の創出

～ 郷土の歴史・文化・風土・先賢の学習空間と

観光・交流のゲートウェイとして ～

奥の細道むすびの地周辺を「歴史と文化の場」及び「観光・交流産業促進の場」として、次の3つの方針で整備を進める。

(1) 船町地区全体の整備の核づくり

船町地区は、美濃路や中山道などの街道の陸運と水門川や揖斐川水系の水運の結節点である船町湊を中心に発展し、江戸時代から交通の要衝として、産業・情報の集積化により、大垣宿の西の玄関口として機能してきた。

そうしたことを日常の生活文化に生かしながら、一層の交流促進による賑わいを創出するため、美濃路周辺の修景整備など、船町地区全体の再生に向けた拠点として、奥の細道むすびの地周辺を整備する。

(2) 中心市街地への市民及び来訪者の回遊性を誘発する拠点づくり

大垣市の中心市街地には、奥の細道むすびの地はもとより、大垣城、美濃路、大手いこ井の泉などの文化・交流資源のほか、大垣市及び西美濃地域の「商業の顔」である中心商店街がある。

奥の細道むすびの地周辺は、かつて、美濃路で言えば西の玄関口、水運で言えば南の玄関口でもあり、中心市街地の回遊性を誘発する拠点として、奥の細道むすびの地周辺を整備する。

（３）西美濃全域フィールドミュージアム化のゲートウェイ機能の整備

船町地区は、大垣市の中心市街地だけでなく、大垣市内全域から西美濃地域全体にいたるまでのゲートウェイとしての役割を果たす立地条件が備わっている場所の一つである。

西美濃地域をはじめとする広域での歴史・文化、観光・交流産業促進の拠点として、奥の細道むすびの地周辺を整備する。

４－２ 役割・機能

大垣の歴史と文化が息づく憩いと賑わいの空間の創出に向け、奥の細道むすびの地周辺に次の機能を整備する。

（１）歴史と文化の場の整備

①（仮称）奥の細道むすびの地記念館（芭蕉館）の整備

「奥の細道」の紀行を大垣で終えた俳聖・松尾芭蕉をはじめ、旧友で大垣俳壇の先駆者・谷木因などの先人の足跡を紹介する「芭蕉館」を整備する。

②（仮称）奥の細道むすびの地記念館（先賢館）の整備

船町はもとより、郷土・大垣市の歴史や文化・芸術を築き上げた先賢の偉業などを広く紹介する「先賢館」を整備する。

③無何有荘大醒櫨の復元

全昌寺へ移築後に解体保存されている大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒櫨」を復元する。

（２）観光・交流産業促進の場の整備

①（仮称）奥の細道むすびの地記念館（観光・交流館）の整備

西美濃全域フィールドミュージアム化のゲートウェイ機能としてのインフォメーションコーナー、土産物や名産物の販売施設、お休み処やラウンジ、市民による学習活動やまちづくり活動などをサポートする多目的施設などを有する「観光・交流館」を整備する。

また、大垣観光案内所を移設し、観光スポットなどの総合案内や各種イベントを実施する。

②イベント広場の整備

自己実現や生きがいを実感できるかがやきライフ活動の拠点として、多くの市民が交流するさまざまなイベントにも使用できる公園を整備する。

（３）その他周辺整備

奥の細道むすびの地の雰囲気醸し出す周辺整備を進めるとともに、自家用車や観光バスでの来訪者のための駐車場を整備する。

また、地域の歴史・文化を生かした事業を展開する。

○駐車場の整備

○周辺道路の遊歩道化

○川湊の風情の修景化（水門川右岸の護岸修景）

○リバーサイドの修景化（船町公園の修景）

○川舟の運航

○周辺地域の修景化

第5章 整備事業

5-1 事業内容

1 施設の整備

■（仮称）奥の細道むすびの地記念館の整備

○芭蕉館の整備

「奥の細道」の紀行を大垣で終えた俳聖・松尾芭蕉をはじめ、旧友で大垣俳壇の先駆者・谷木因などの先人の足跡を紹介する「芭蕉館」を整備し、常設展示及び企画展示を実施する。

また、一般市民から研究者までを対象として、芭蕉関係の情報や図書を提供する情報・図書コーナーを開設するとともに、各種講座を実施する。

○先賢館の整備

船町はもとより、郷土・大垣市の歴史や文化・芸術を築き上げた先賢の偉業などを広く紹介する「先賢館」を整備し、常設展示及び企画展示を実施する。

また、一般市民から研究者までを対象として、先賢関係の情報や図書を提供する情報・図書コーナーを開設するとともに、各種講座を実施する。

○観光・交流館の整備

西美濃全域フィールドミュージアム化のゲートウェイ機能としてのインフォメーションコーナー、土産物や名産物の販売施設、お休み処（ラウンジ）、市民による学習活動やまちづくり活動などをサポートする多目的施設を有する「観光・交流館」を整備する。

また、一般市民や観光客を対象として各種講座を実施するとともに、民間事業者を対象として土産物や大垣いちおし製品などの新規開発を支援する。

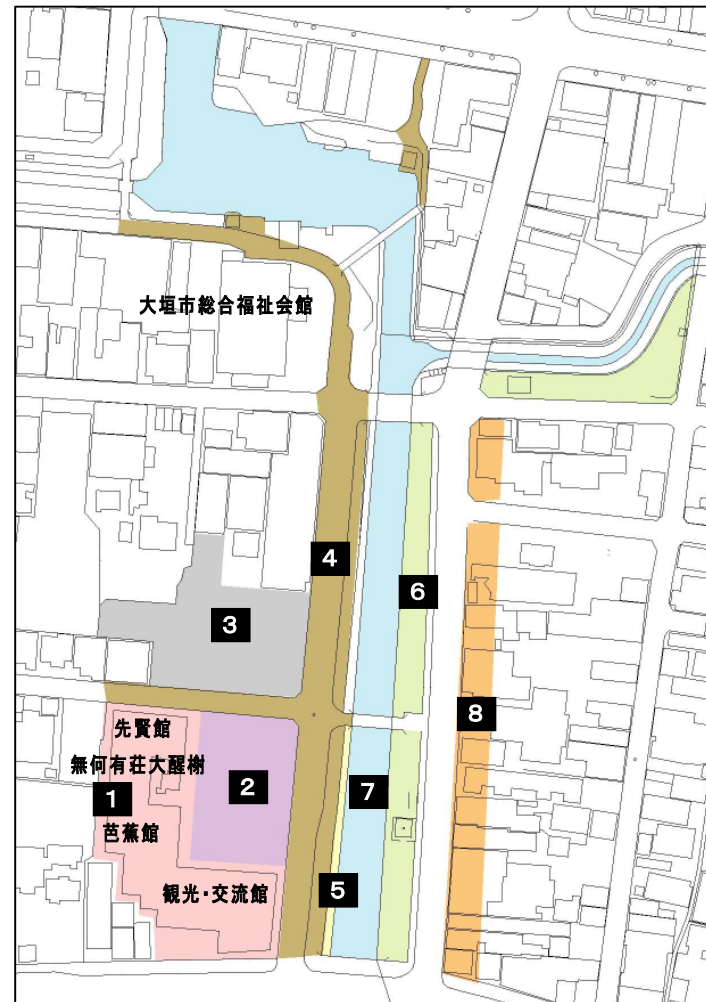
■無何有荘大醒樹の復元

全昌寺へ移築後に解体保存されている大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒樹」を復元し、大垣市指定文化財を広く市民にPRするとともに、憩いの場を提供する。

2 イベント広場の整備

■イベント広場の整備

自己実現や生きがいを実現できるかがやきライフ活動の拠点として、多くの市民が交流するさまざまなイベントにも使用できる公園を整備する。



3 駐車場の整備

■駐車場の整備

自家用車や観光バスでの来訪者のための駐車場を整備する。

4 周辺道路の遊歩道化

■周辺道路の遊歩道化

施設整備地と水門川沿いを一体化したエリアとするため、イベント時には、周辺道路を遊歩道化する。

5 川湊の風情の修景化

■川湊の風情の修景化

水門川右岸の護岸修景を実施する。

6 リバーサイドの修景化

■リバーサイドの修景化

船町公園の修景を実施する。

7 川舟の運航

■川舟の運航

水門川における川舟の運航を実施する。

8 周辺地域の修景化

■周辺地域の修景化

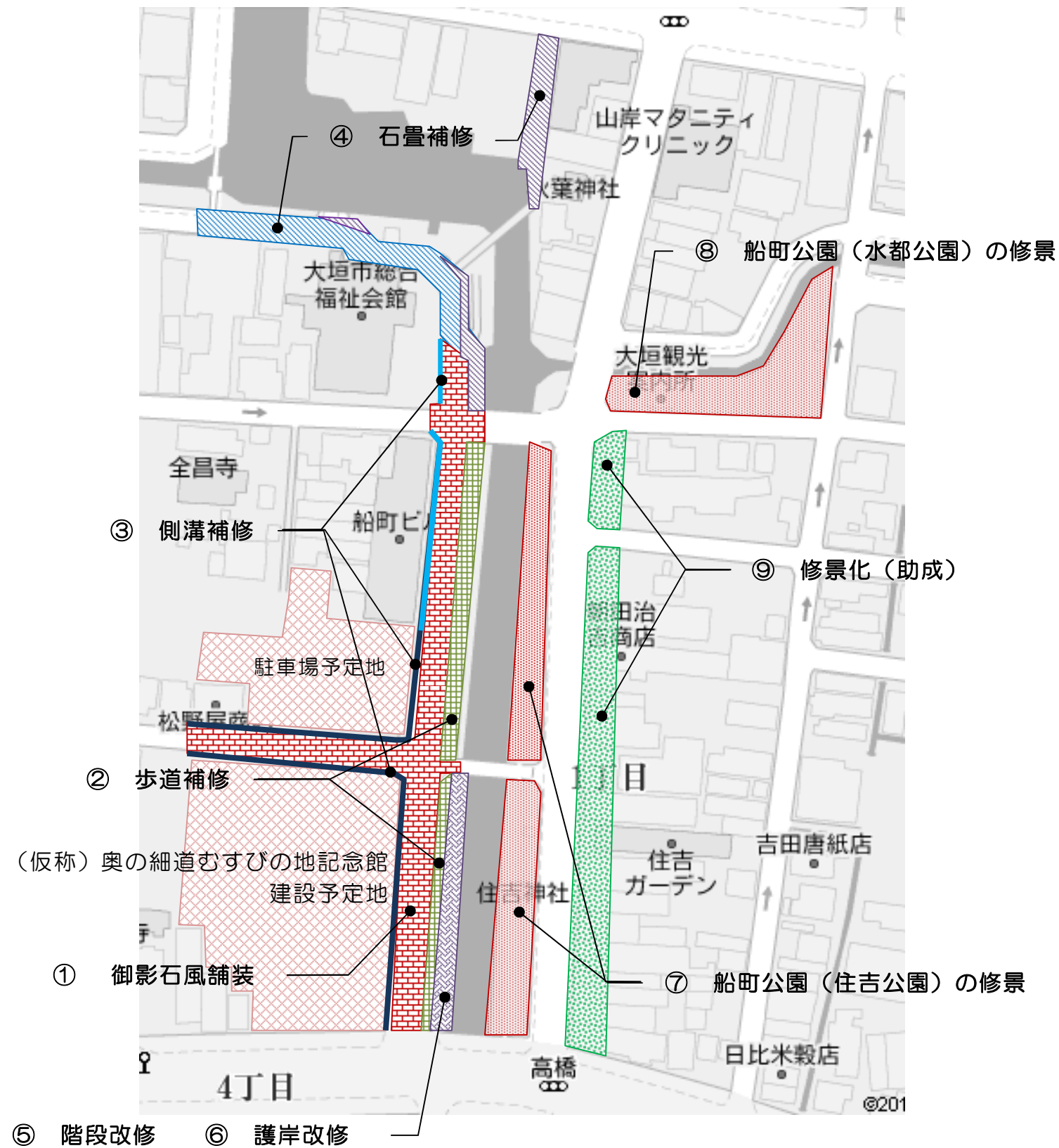
心が和む雰囲気醸し出すため、川湊の町屋を偲ばせる修景を実施する。

4

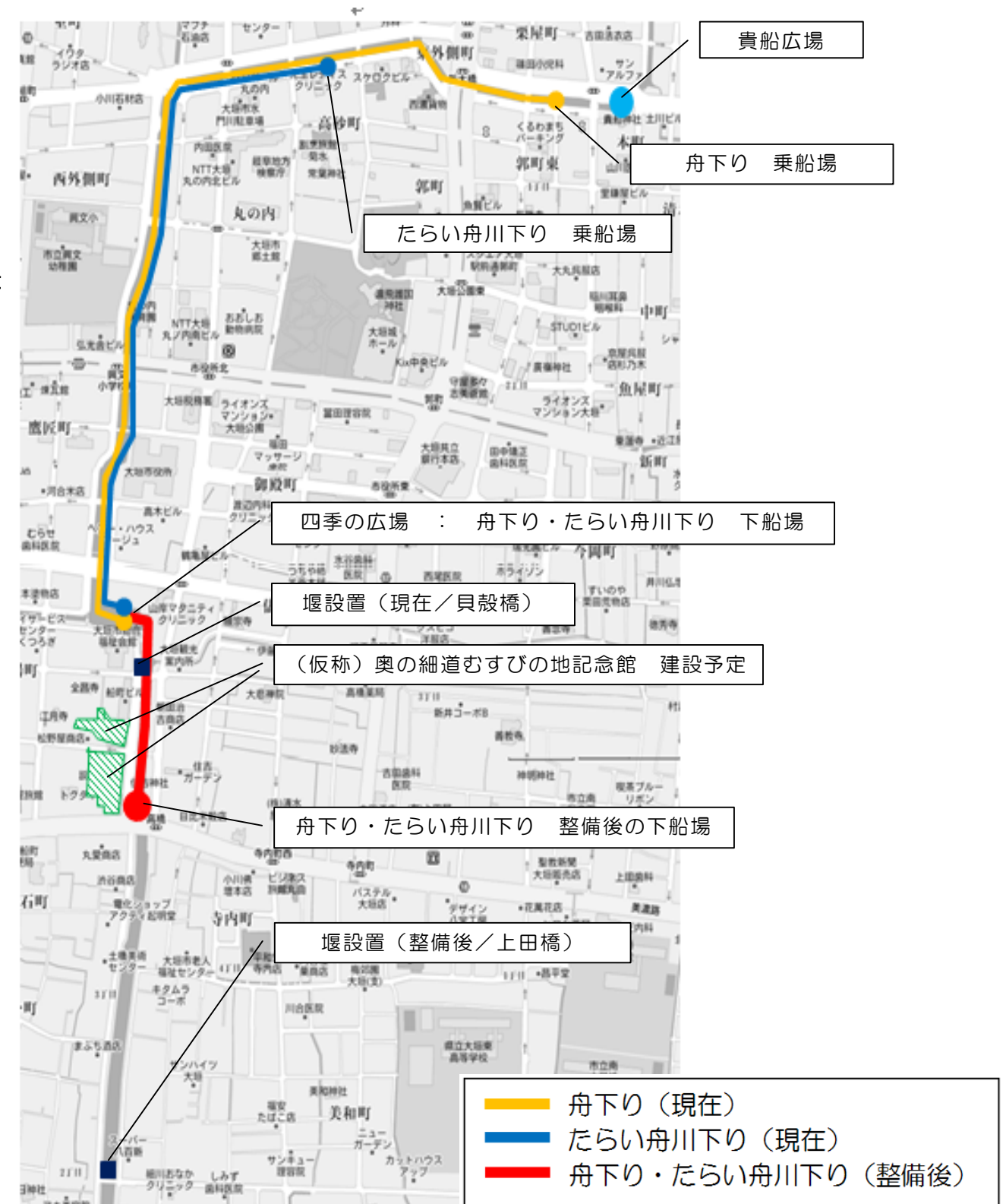
周辺道路の遊歩道化 ～

8

周辺地域の修景化



奥の細道むすびの地周辺整備後の舟下り及びたらい舟川下り



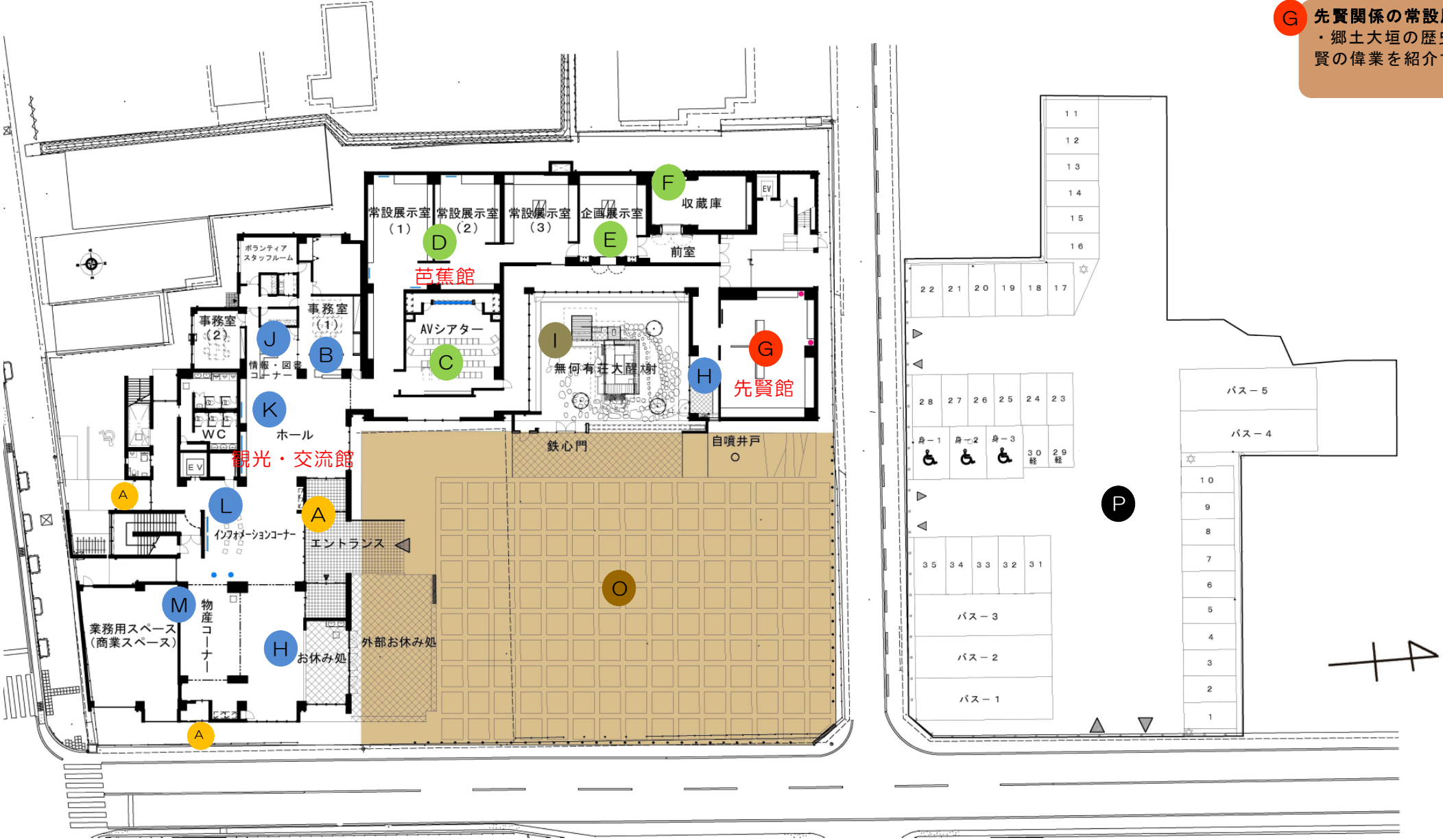
5－2 構成事業

事業名		事業の目的	実施主体	事業の内容	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	担当課
(仮称)奥の細道むすびの地記念館の整備	芭蕉館の整備	「奥の細道」の紀行を大垣で終えた俳聖・松尾芭蕉をはじめ、旧友で大垣俳壇の先駆者・谷本因などの先人の足跡を紹介する「芭蕉館」を整備し、常設展示及び企画展示を実施する。	大垣市	・用地取得 ・整備	用地取得 整備							政策調整課 建 築 課 文化振興課 図 書 館
				・常設展示室の整備	整備		オープン					政策調整課 文化振興課 図 書 館 (仮称)奥の細道 むすびの地記念館
				・常設展示・企画展示の実施			常設展示・企画展示の実施					(仮称)奥の細道 むすびの地記念館 文化振興課 図 書 館
	先賢館の整備	船町はもとより、郷土・大垣市の歴史や文化・芸術を築き上げた先賢の偉業などを広く紹介する「先賢館」を整備し、常設展示及び企画展示を実施する。	大垣市	・用地取得 ・整備	用地取得 整備							政策調整課 建 築 課 文化振興課 図 書 館
				・常設展示室の整備	整備		オープン					政策調整課 文化振興課 図 書 館 (仮称)奥の細道 むすびの地記念館
				・常設展示・企画展示の実施			常設展示・企画展示の実施					(仮称)奥の細道 むすびの地記念館 文化振興課 図 書 館
	観光・交流館の整備	西美濃全域フィールドミュージアム化のゲートウェイ機能としてのインフォメーションコーナー、土産物や名産物の販売施設、お休み処(ラウンジ)、市民による学習活動やまちづくり活動などをサポートする多目的施設を有する「観光・交流館」を整備する。 一般市民から研究者までを対象として、芭蕉関係や先賢関係の情報や図書を提供する情報・図書コーナーを開設する。 一般市民や観光客を対象として各種講座を実施するとともに、民間事業者を対象として土産物や大垣いちおし製品などの新規開発を支援する。	大垣市	・用地取得 ・整備(外溝を含む)	用地取得 整備							政策調整課 商工観光課 建 築 課
				・情報・図書コーナーの整備	整備		オープン					政策調整課 文化振興課 図 書 館 (仮称)奥の細道 むすびの地記念館
				・インフォメーションコーナーの整備	整備		オープン					政策調整課 商工観光課 (仮称)奥の細道 むすびの地記念館
				・常設展示・企画展示の実施			常設展示・企画展示の実施					(仮称)奥の細道 むすびの地記念館 商工観光課
			大垣市 各種団体	・各種講座の実施 講演会 俳句入門 歴史講座 郷土の先賢を知る講座 ものづくり体験 観光サポーター育成講座 生涯学習講座 など			各種講座の実施					(仮称)奥の細道 むすびの地記念館 文化振興課 図 書 館 商工観光課 市民活動推進課
				大垣市 民間事業者	・土産物や大垣いちおし製品の開発支援、PR	開発支援、PRの実施						
無何有荘大醒樹の復元		全昌寺へ移築後に解体保存されている大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒樹」を復元し、大垣市指定文化財を広く市民にPRするとともに、憩いの場を提供する。	大垣市	・用地取得 ・無何有荘大醒樹の復元 ・鉄心門の復元 ・庭の整備	用地取得 復元		オープン					政策調整課 文化振興課 都市施設課 建 築 課

事業名	事業の目的	実施主体	事業の内容	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	担当課
イベント広場の整備	自己実現や生きがいを実感できるかがやきライフ活動の拠点として、多くの市民が交流するさまざまなイベントにも使用できる公園を整備する。	大垣市	・用地取得 ・整備（外溝を含む）		用地取得 整備						政策調整課 都市施設課 建 築 課
		大垣市 各種団体	・各種イベントの実施 かがやきライフイベント 元禄屋台村 市民手づくり協働事業 舟下り芭蕉祭 芭蕉蛤塚忌全国俳句大会 など			各種イベントの実施					（仮称）奥の細道 むすびの地記念館 市民活動推進課 商工観光課 文化振興課
駐車場の整備	自家用車や観光バスでの来訪者のための駐車場を整備する。	大垣市	・用地取得 ・整備		用地取得 整備	オープン					政策調整課 治 水 課 都市施設課 建 築 課 （仮称）奥の細道 むすびの地記念館
周辺道路の遊歩道化	施設整備地と水門川沿いを一体化したエリアとするため、周辺道路を遊歩道化する。	大垣市	・整備（御影石風舗装） ・側溝や水門川沿いの歩道の補修		整備	遊歩道化（イベント時のみ）					生活安全課 管 理 課 道 路 課 （仮称）奥の細道 むすびの地記念館
川湊の風情の修景化	水門川右岸の護岸修景を実施する。	大垣市	・整備（護岸の補修、階段の整備）		整備						政策調整課 治 水 課
リバーサイドの修景化	船町公園の修景を実施する。	大垣市	・整備（船町公園の修景整備）		整備						政策調整課 都市施設課
川舟の運航	水門川における川舟の運航を実施する。	各種団体	・川舟の運航			川舟の運航					商工観光課
周辺地域の修景化	心が和む雰囲気醸し出すため、川湊の町屋を偲ばせる修景を実施する。	大垣市	・周辺地域の修景化		周辺地域の修景化						政策調整課 都市計画課 建 築 課

5-3 主要施設

主要施設のゾーニング (1階)



A エントランス
・「芭蕉館」、「先賢館」、「観光・交流館」の共通の出入口。

B 事務室
・施設全体の管理・運営を実施する。

C AVシアター
・40名程度の収容が可能なAVシアター。映像で「奥の細道」の概略を紹介する。

D 芭蕉関係の常設展示室
・「奥の細道」の紀行を大垣で終えた俳聖・松尾芭蕉をはじめ、その旧友で大垣俳壇の先駆者・谷木因などの先人の足跡を紹介する。

E 芭蕉関係と先賢関係共用の企画展示室
・芭蕉関係と先賢関係の企画展示（期間限定）を実施する。

F 芭蕉関係と先賢関係共用の収蔵庫
・常設展示室及び企画展示室における展示品等を保存（保管）する。

G 先賢関係の常設展示室
・郷土大垣の歴史や文化・芸術を築き上げた先賢の偉業を紹介する。

H お休み処、ラウンジ
・奥の細道むすびの地への来訪者に休憩スペースを提供する。

I 無何有荘大醒樹
・大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒樹」を復元し、大垣市指定文化財を広く市民にPRするとともに、憩いの場を提供する。

J 情報・図書コーナー
・芭蕉関係や先賢関係の情報や図書を提供する。

K ホール
・全国の芭蕉関連施設の情報、館内催事及び市内のイベント情報、船町及び中心市街地の地域情報を提供する。

L インフォメーションコーナー
・大垣市や西美濃地域が有する地域資源を生かし、地域全体を一つのミュージアムとしていくための地域情報を提供する。

M 物産コーナー、業務用スペース（商業スペース）
・事業者に物品販売業などの業務スペースを提供する。

O イベント広場
・多くの市民が集い憩える公園として、さまざまな交流イベントにも使用できるスペースを提供する。

P 駐車場
・来訪者の自動車や観光バスが駐車できるスペースを提供する。

主要施設のゾーニング
(2階)



F 芭蕉関係と先賢関係共用の資料室
・常設展示室及び企画展示室における展示品等を保存（保管）する。

N 多目的室（１）（２）
・さまざまな講座や研修会の開催が可能な多目的スペースを提供する。

奥の細道むすびの地周辺整備における主要施設

（仮称）奥の細道むすびの地記念館

施 設		目 的	機 能	規 模
芭 蕉 館	常設展示室（1 F） （芭蕉関係の常設展示）	「奥の細道」の紀行を大垣で終えた俳聖・松尾芭蕉をはじめ、その旧友で大垣俳壇の先駆者・谷木因などの先人の足跡を紹介する。 ※常設展示 ※有料	・概要説明（奥の細道）（A Vシアター） ・「奥の細道」巡り ・芭蕉の世界 ・大垣と美濃の俳諧（谷木因、大垣の蕉門人、美濃派）	327.61 m ² (展 示 室：237.07 m ²) (A Vシアター： 90.54 m ²)
	企画展示室（1 F） （企画展示） ※先賢館との共用	常設展示以外の企画展示(期間限定)を実施する。 ※企画展示 ※有料	・常設展示（芭蕉関係、先賢関係）の内容を拡充するテーマを設定しての展示 ・常設展示（芭蕉関係、先賢関係）の内容以外のテーマを設定しての展示 など	56.19 m ²
	収蔵庫・前室（1 F） ※先賢館との共用	常設展示室及び企画展示室における展示品等を保存（保管）する。	・大垣市が所有する俳諧関係の古文書などの保管 ・展示替えなどに必要な作業空間 など	81.52 m ² (収蔵庫：58.39 m ²) (前 室：23.13 m ²)
	資料室（2 F） ※先賢館との共用			94.09 m ²
先 賢 館	常設展示室（1 F） （先賢関係の常設展示）	郷土・大垣市の歴史や文化を築き上げた先賢を紹介する。 ※常設展示 ※有料	・概要説明（「文教のまち大垣」、大垣歴代藩主（戸田公）の文教施策） ・「文教のまち大垣」の礎を築いた幕末の先賢とその偉業を紹介 など	115 m ²
観光・交流館	ホール（1 F）	全国の芭蕉関連施設の情報、館内催事及び市内のイベント情報、船町及び中心市街地の地域情報を提供する。	・関連各市町の各種情報提供コーナー（全国の芭蕉関連施設の情報の提供） ・館内案内及びイベント案内コーナー（館内の催事や市内のイベント情報の提供） ・船町・中心市街地コーナー（回遊性を高める情報の提供）	101.25 m ²
	インフォメーションコーナー（1 F）	西美濃地域が有する地域資源を生かし、地域全体を一つのミュージアムとしていくための地域情報を提供する。 ※オープンスペース ※常設展示 ※無料	・大垣市域・西美濃地域コーナー（観光情報の提供） ・情報検索コーナー（各種情報を検索できる端末の設置） など	94.05 m ²

施 設			目 的	機 能	規 模
(仮称)奥の細道むすびの地記念館	観光・交流館	情報・図書コーナー (1 F)	芭蕉関係や先賢関係の情報発信や図書を提供する。 ※オープンスペース ※無料	・芭蕉関係や先賢関係の所蔵品や資料のデジタルアーカイブ化による情報発信 ・芭蕉関係や先賢関係の概説本の配備 ・市民、来訪者、子どもなどが学習するための検索機能の配備 など	26.65 m ²
		物産コーナー (1 F)	事業者に物品販売業などの営業用スペースを提供する。 ※貸出施設 ※有料	・土産物や名産物などの販売 など	53.02 m ²
		業務用スペース (1 F) (商業スペース)			105.81 m ²
		お休み処 (1 F)	奥の細道むすびの地への来訪者に休憩スペースを提供する。 ※オープンスペース ※無料	・来訪者が休憩できるスペース など	131.56 m ²
		ラウンジ (2 F)			25.38 m ²
		多目的室 (1) (2 F) (北側)(南側)(準備室)	さまざまな講座や研修会の開催が可能な多目的スペースを提供する。 ※貸出施設 ※有料	・句会、俳句教室、拓本教室など、市民活動団体等による活用スペース ・来訪者を対象とした俳句づくり体験ができるスペース ・学校が授業などで使用できるスペース ・観光サポーター育成講座などを開催できるスペース など	159.03 m ² (北 側:84.70 m ²) (南 側:55.16 m ²) (準備室:19.17 m ²)
		多目的室 (2) (2 F)			64.99 m ²
		事務室 (1 F)	施設全体の管理・運営を実施する。	・施設の管理・運営 など (管理スタッフ、ボランティアスタッフ等の常駐)	147.50 m ²
		合 計 (1 F : 1,711.20 m ² 2 F : 613.89 m ² R F : 4.12 m ²)			

施 設	目 的	機 能	規 模
無何有荘大醒榊	大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒榊」を復元し、大垣市指定文化財を広く市民にPRするとともに、憩いの場を提供する。	・無何有荘大醒榊の復元 ・鉄心門の復元 ・庭の整備 ・煎茶や抹茶のサービスの実施 など	21.59 m ² (敷地面積: 163.51 m ²)

施 設	目 的	機 能	規 模
イベント広場	多くの市民が集い憩える公園として、さまざまな交流イベントにも使用できる場を提供する。	・市民の自己実現や生きがいを実感できるかがやきライフ活動の拠点 ・各種イベント(元禄屋台村など)の実施 ・災害時の避難スペース など	敷地面積: 1,330.40 m ² (実測 1,337.97 m ²)
駐車場	来訪者の自動車や観光バスが駐車できるスペースを提供する。	・駐車スペース(一般車両: 35台、障がい者用車両: 3台、観光バス: 5台)	敷地面積: 1,718.47 m ² (実測 1,738.75 m ²)









第7章 整備費用

(単位：千円)

項 目		H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	合 計
構想策定		3,000				3,000
施設計画とりまとめ		1,700				1,700
基本計画・施設展示計画策定			6,400			6,400
用地取得（鑑定料を含む）				442,600	1,077,600	1,520,200
施設 工事	基本設計・実施設計（土壌分析、井戸調査、地質調査を含む）		1,800	48,300		50,100
	（仮称）奥の細道むすびの地記念館（芭蕉館、先賢館、観光・交流館）、無何有荘大醒木射の復元			271,000	617,000	888,000
	イベント広場				73,200	73,200
	駐車場				24,900	24,900
	外構				36,000	36,000
	工事監理（芭蕉館、先賢館、観光・交流館、無何有荘大醒木射）			8,300	8,900	17,200
展 示 整 備	基本設計・実施設計			（施設工事の設計を含む）		0
	（仮称）奥の細道むすびの地記念館（芭蕉館、先賢館、観光・交流館、情報・図書コーナー）				539,600	539,600
	収蔵品整理（芭蕉館、先賢館関係）			7,000		7,000
	整備監理（芭蕉館、先賢館、観光・交流館、情報・図書コーナー）			1,900	7,400	9,300
	監修（芭蕉館、先賢館、観光・交流館、情報・図書コーナー）		300	17,400	17,400	35,100
什器・備品					30,000	30,000
そ の 他	周辺道路の遊歩道化（整備工事）				81,000	81,000
	川湊の風情の修景化（整備工事）				60,000	60,000
	リバーサイドの修景化（整備工事）				15,000	15,000
	周辺地域の修景化（整備補助）				34,500	34,500
合 計		4,700	8,500	796,500	2,622,500	3,432,200

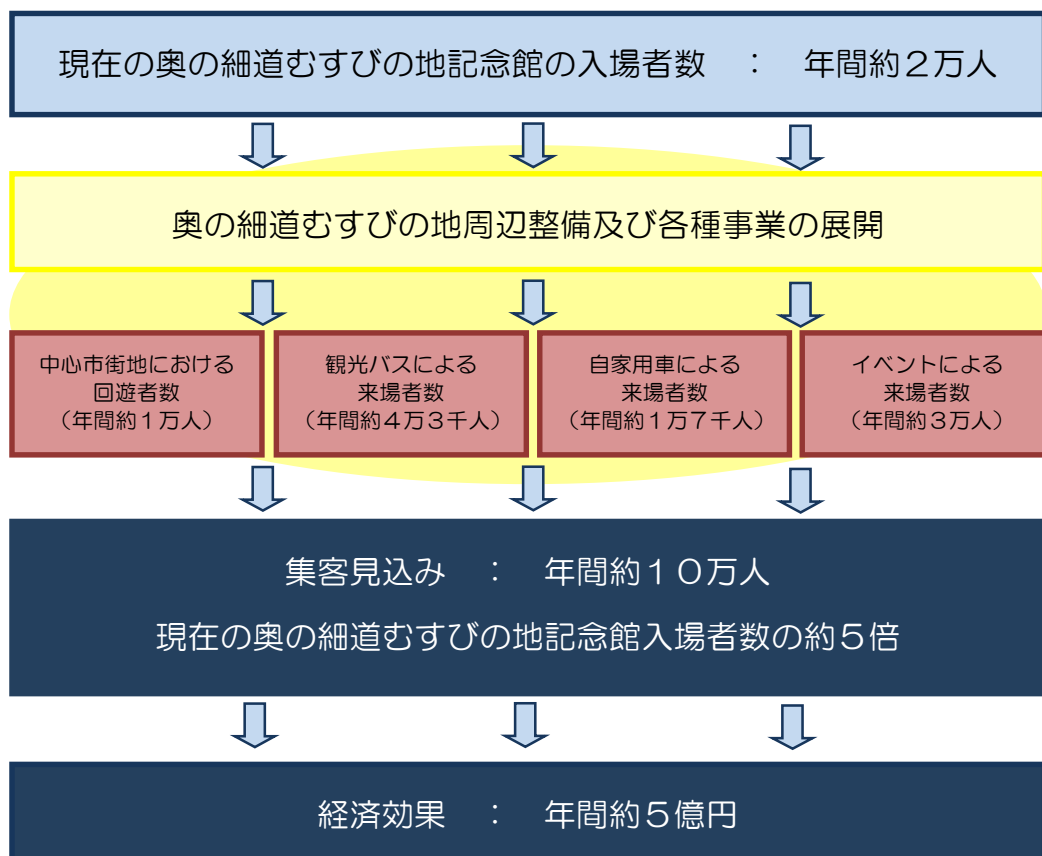
(単位：千円)

項 目		H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	合 計
財 源 内 訳	国庫支出金（地域活性化・経済危機対策臨時交付金）			48,300		48,300
	国庫支出金（社会資本整備総合交付金）				428,100	428,100
	県支出金（市町村振興補助金）		1,500			1,500
	県支出金（合併市町村支援交付金）			100,000	100,000	200,000
	市債（合併特例債／充当率95％）			557,600	1,717,100	2,274,700
	寄附金				5,000	5,000
	一般財源	4,700	7,000	90,600	372,300	474,600
合 計		4,700	8,500	796,500	2,622,500	3,432,200

第8章 集客見込み及び経済効果

現在の奥の細道むすびの地記念館の年間入場者数をはじめ、大垣城などの周辺施設、中心市街地における回遊者数、芭蕉関係の全国の類似施設の状況などを踏まえ、年間約10万人の集客を見込む。

これによる経済効果は、年間約5億円（約10万人×約5千円＝約5億円）になると考えられる。



（参考）集客見込数の算出根拠

- ・ 中心市街地の回遊による来場者数：約1万人
 $\text{約40,000人（大垣城入場者数）} - \text{約20,000人（奥の細道むすびの地記念館入場者数）} \times \text{約50\%（観光バス及び自家用車以外の観光客割合）} = \text{約10,000人}$
- ・ 駐車場整備による来場者数：約6万人
 $\text{約40人（観光バス乗車数）} \times \text{5台（休日）} \times \text{約120日} = \text{約24,000人}$
 $\text{約40人（観光バス乗車数）} \times \text{2台（平日）} \times \text{約240日} = \text{約19,200人}$
 $\text{約2人（自家用車乗車数）} \times \text{50台（休日）} \times \text{約120日} = \text{約12,000人}$
 $\text{約2人（自家用車乗車数）} \times \text{10台（平日）} \times \text{約240日} = \text{約4,800人}$
 $\text{約24,000人} + \text{約19,200人} + \text{約12,000人} + \text{約4,800人} = \text{約60,000人}$
- ・ イベントによる来場者数：約3万人